江戸時代

名前

問1　元禄時代から江戸時代後半にかけて、日本の農業は技術革新によって生産力が向上しました。この時期に普及した「千歯こき」という農具が、農作業のどの工程において革新をもたらしたか、最も適切な説明を選択してください。 （2017年 岡山県公立入試 類似）

1. 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程
2. 低い場所にある河川から田に水を汲み上げる工程
3. 重さの違いを利用して籾とゴミをより分ける工程
4. 硬い土を深く耕して肥料の吸収を良くする工程

問2　江戸時代の三大改革が行われた共通の背景と、それぞれの改革が目指した主な目的についての説明として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 大阪府公立入試 類似）

1. 天皇の権威が高まったことを受け、朝廷と協力して政治を行う公武合体の体制を築くことを目指した。
2. 外国船の来航による軍事的脅威に対抗するため、西洋の軍事技術の導入と開国を目指した。
3. 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。
4. 商業資本の成長を抑えるため、全ての特権的な商人を追放し、自給自足の経済へ戻すことを目指した。

問3　江戸幕府や薩摩藩が、琉球王国に対して薩摩藩の支配下にあることを中国（明や清）に隠させようとした理由として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 宮崎県公立入試 類似）

1. 中国との朝貢貿易を継続させ、薩摩藩を通じて貿易による利益を獲得するため。
2. 琉球王国を江戸幕府の直轄地へと変更し、幕府が直接関税を徴収するため。
3. 中国からの侵略を防ぐために、琉球王国との外交関係を完全に断絶させるため。
4. 将軍の権威が異国にまで及んでいることを中国に認識させ、服属させるため。

問4　江戸幕府は、全国の大名を徳川氏との親疎関係に基づいて3つの区分に分類しました。このうち、関ヶ原の戦い以前から徳川氏に従っていた家臣で、幕府の政治において老中などの重要な役職に就くことができた区分の名称として、正しいものを選びなさい。 （2021年 山口県公立入試 類似）

1. 親藩
2. 外様大名
3. 譜代大名
4. 旗本

問5　江戸幕府の第8代将軍である徳川吉宗が行った「享保の改革」において、庶民の意見を直接政治に反映させるために設置された投書箱の名称として正しいものを選びなさい。 （2019年 岩手県公立入試 類似）

1. 目安箱
2. 問屋制家内工業
3. 蔵屋敷
4. 五人組

問6　19世紀に入り、ロシアやイギリスなどの外国船が日本近海に頻繁に現れるようになった状況を受け、江戸幕府が1825年に出した、日本の沿岸に近づく外国船を無条件で砲撃して追い払うよう命じた法令の名称を答えなさい。 （2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. 鎖国令
2. 薪水給与令
3. 生類憐れみの令
4. 異国船打払令

問7　飛鳥時代から江戸時代にかけて、日本史の転換点となった4人の人物（天武天皇、平清盛、北条時宗、水野忠邦）を、活躍した時期が古い順に並べた組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 天武天皇 → 平清盛 → 北条時宗 → 水野忠邦
2. 天武天皇 → 平清盛 → 水野忠邦 → 北条時宗
3. 天武天皇 → 北条時宗 → 平清盛 → 水野忠邦
4. 平清盛 → 天武天皇 → 北条時宗 → 水野忠邦

問8　1789年のフランス革命、人権宣言の採択、その後の周辺国との戦争という歴史的経緯を踏まえ、軍人から皇帝へと上り詰め、ヨーロッパの大部分を支配下に置いた人物は誰ですか。 （2021年 佐賀県公立入試 類似）

1. ロベスピエール
2. ナポレオン
3. ルイ16世
4. ビスマルク

問9　17世紀半ば、江戸幕府はキリスト教の禁止と貿易の統制を強める「鎖国」の体制を完成させました。この過程において、1641年にそれまで平戸にあったオランダ商館を、長崎のどこへ移転させましたか。その名称として正しいものを選びなさい。 （2018年 静岡県公立入試 類似）

1. 対馬
2. 出島
3. 種子島
4. 堺

問10　1635年に江戸幕府が発令した、大名に対して毎年四月中に参勤することを命じ、領地と江戸を一年おきに往来することを制度化した法令を何といいますか。 （2019年 三重県公立入試 類似）

1. 禁中並公家諸法度
2. 武家諸法度
3. 公家諸法度
4. 寺院諸法度

問11　江戸幕府が、商人が結成した組織に対して独占的な営業権を認めた主な目的と、その仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。当時の交通網の発達や都市の繁栄といった背景をふまえて考えてください。 （2026年 福岡県公立入試 類似）

1. 中世から続く「座」の特権を保護し、有力な寺社や公家の経済基盤を維持するため
2. 問屋制家内工業を全国に普及させ、海外輸出を目的とした綿織物の生産を強制するため
3. 独占権を認めることで商品の価格を大幅に下げさせ、都市に住む人々の生活を安定させるため
4. 商人に特権を与える代わりに、運上や冥加などの税を納めさせて幕府の財政収入を増やすため

問12　江戸時代の政治について述べた次の文のうち、松平定信が「囲米」の制度を導入した背景として最も適切なものはどれですか。 （2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 天明のききんにより全国で多くの餓死者が出て、各地で打ちこわしが頻発したから。
2. 商品経済の発展にともない、株仲間を通じて商人から税を徴収する仕組みを整えたかったから
3. 大名や旗本の領地を幕府の直轄地として没収し、財政の基盤を強化したかったから。
4. 長崎貿易での金銀の流出を抑えるため、国内の物資流通を制限する必要があったから。

問13　17世紀末から18世紀初めにかけて、京都や大阪などの上方の町人を中心として栄えた文化の特色を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 （2019年 富山県公立入試 類似）

1. 寝殿造の建物が造られ、紫式部や清少納言によってかな文字を用いた優れた文学作品が生み出された。
2. 雪舟が水墨画を大成させ、茶の湯や生け花など、現代の日本文化につながる簡素な美しさを尊ぶ文化が広まった。
3. 狩野永徳が城の障壁画を描き、南蛮貿易の影響を受けてキリスト教や西欧の技術が伝えられた。
4. 井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の台本を執筆するなど、庶民の生活を題材とした作品が人気を集めた。

問14　江戸時代初期の対外関係に関する記録において、日本の茶が初めてヨーロッパへ伝わった経緯を説明した記述として、正しいものはどれですか。 （2021年 長野県公立入試 類似）

1. 対馬藩が朝鮮通信使への贈り物として茶を渡し、それが西欧へ伝わった。
2. 薩摩藩が琉球王国を通じて、イギリスの商人に茶を販売した。
3. 幕府が平戸の商館を通じて、スペインへ直接茶を献上した。
4. 長崎の出島を拠点としていたオランダが仲介し、日本から茶を輸出した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程	千歯こきは「後家倒し（ごけだおし）」という別名を持つほど、脱穀の作業時間を短縮させた画期的な道具です。それまでの手作業に比べて数倍の速さで脱穀ができるようになったため、農業経営の効率化に大きく貢献しました。なお、土を深く耕すのは備中鍬、灌漑（かんがい）に用いるのは踏車、選別を行うのは万石通しであり、それぞれ役割が異なります。
問2	答え 3 幕府の財政難や農村の荒廃に対処するため、財政の再建と支配体制の立て直しを目指した。	江戸時代の三大改革（享保・寛政・天保）は、いずれも貨幣経済の浸透による武士の困窮や、冷害などの災害による農村の荒廃、それに伴う幕府財政の悪化という共通の課題に直面していました。そのため、支出の抑制（質素倹約）や収入の安定（年貢の確保・増収）を共通の目的として、幕府の権威を再構築しようとしたものです。
問3	答え 1 中国との朝貢貿易を継続させ、薩摩藩を通じて貿易による利益を獲得するため。	中国（明・清）は服属関係にある国としか朝貢貿易を行わなかったため、琉球王国が薩摩藩の支配下にあることが知られると貿易が停止する恐れがありました。そのため、江戸幕府や薩摩藩は支配の事実を隠し、貿易利益を獲得しようとしました。
問4	答え 3 譜代大名	徳川氏が天下を治める以前（関ヶ原の戦いよりも前）から仕えていた家臣は「譜代」と呼ばれます。譜代大名は、江戸や京都・大坂などの要所、およびその周辺の領地に配置され、幕府の政治を直接担う老中や若年寄などの要職を独占しました。一方、徳川氏の親戚は「親藩」と呼ばれます。
問5	答え 1 目安箱	徳川吉宗は、幕政への不満や提案を庶民から直接募るために、評定所の門前に目安箱を設置しました。ここから得られた意見をもとに、小石川養生所の設立など実効性のある政策が実現しました。
問6	答え 4 異国船打払令	19世紀初頭、列強諸国のアジア進出に伴い日本近海への来航が急増しました。これに対して江戸幕府は、軍事的な緊張を高める排外政策として、日本の沿岸に接近した外国船を問答無用で砲撃し、上陸した外国人を捕らえることを命じました。この法令は、その内容から「無二念打払令」とも呼ばれます。
問7	答え 1 天武天皇 → 平清盛 → 北条時宗 → 水野忠邦	天武天皇は7世紀（飛鳥時代）に壬申の乱を経て即位し、律令国家の基礎を固めました。平清盛は12世紀（平安時代末期）に武家として初めて太政大臣となり、武士の政権を樹立しました。北条時宗は13世紀（鎌倉時代）に執権として元（モンゴル帝国）の襲来に対処しました。水野忠邦は19世紀（江戸時代後期）に老中として天保の改革を行い、幕府の権威回復に努めました。
問8	答え 2 ナポレオン	フランス革命後の混乱期に軍人として台頭した人物です。彼は軍事的な成功を背景に権力を握り、1804年に国民投票を経て皇帝に即位しました。その後、ナポレオン法典（フランス民法典）を制定して革命の成果を法的に定着させるとともに、大規模な遠征を行ってヨーロッパの広範囲を支配しました。なお、ルイ16世は革命中に処刑された国王、ロベスピエールは革命期の恐怖政治を主導した人物です。
問9	答え 2 出島	幕府は1639年にポルトガル船の来航を禁止した後、1641年に平戸のオランダ商館を長崎の出島に移しました。これにより、ヨーロッパ諸国の中で貿易を許されたのはオランダのみとなり、出島を通じた厳格な管理体制が確立されました。出島はもともとポルトガル人を収容するために作られた人工の島でした。
問10	答え 2 武家諸法度	江戸幕府が諸大名を統制するために定めた基本的な法令です。二代将軍徳川秀忠の時に初めて発令されましたが、三代将軍徳川家光による1635年（寛永）の改訂で、参勤交代が正式に義務付けられました。選択肢にある禁中並公家諸法度は天皇や公家を対象としたものであり、混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 4 商人に特権を与える代わりに、運上や冥加などの税を納めさせて幕府の財政収入を増やすため	幕府は、都市の発展や全国的な流通網の整備によって成長した商人の力を利用しようとしました。株仲間に営業の独占権（営業独占権）を与える見返りとして、運上（うんじょう）や冥加（みょうが）という税を徴収し、財政の安定を図ったのが主な目的です。田沼意次の時代には、この方針が積極的に推し進められました。なお、株仲間の結成は流通を安定させる側面もありましたが、結果として商品の価格がつり上がる原因にもなったため、後の天保の改革では一時的に解散を命じられることになります。
問12	答え 1 天明のききんにより全国で多くの餓死者が出て、各地で打ちこわしが頻発したから。	松平定信が政権を握る直前の田沼意次の時代、浅間山の大噴火や冷害によって「天明のききん」が発生し、農村は荒廃して都市では打ちこわしが相次ぎました。定信は、こうした社会の混乱を防ぎ幕府の支配体制を立て直すために、米の備蓄を命じる「囲米」や、都市に流入した農民を農村へ帰す「旧里帰農令」などの農本主義的な政策を打ち出しました。
問13	答え 4 井原西鶴が浮世草子を書き、近松門左衛門が人形浄瑠璃の台本を執筆するなど、庶民の生活を題材とした作品が人気を集めた。	江戸時代中期の元禄文化を代表する動きです。この時期、幕府の政治が安定し、上方（京都・大阪）の経済力が向上したことで、町人が文化の担い手となりました。井原西鶴は町人の欲望や生活をリアルに描く浮世草子を確立し、近松門左衛門は義理や人情をテーマにした人形浄瑠璃の台本で人々の共感を得ました。
問14	答え 4 長崎の出島を拠点としていたオランダが仲介し、日本から茶を輸出した。	江戸時代、長崎の出島で独占的に貿易を行っていたオランダは、日本から銀や銅などのほかに茶も輸出していました。これが、日本の茶がヨーロッパに紹介される最初のきっかけになったとされています。